

# アベ政治にNO！を 突き付けよう！ 示していきましょう！

戦争法案強行採決から1カ月、総がかり行動実行委員会から毎月19日を戦争法の廃止&アベ政権退陣を求める行動日と呼びかけがあった。

その最初の行動日の10月19日、国会前には9500名の人々が集まり声を上げた。全国各地でも呼びかけに応える行動があり、前日18日には渋谷でシールズが行動を行った。

澤地久枝さんからは毎月3日午後1時に「アベ政治を許さない」のポスターを掲げようとの提案も出された。この「アベ政治を許さない」の小さなタグをバッグやリュックにかけている人も多い。電車の中で同じタグをつけている人に出会うと思わずニッコリしてしまう。お互いに頑張りましょうねという思いが通じる時もある。

関西方面では子どもが2人こぶしを上げた絵に「戦争やめて！」と書かれた丸い可愛いタグが流行っているそうだ。各地で工夫して「アベ政治にNO！」の思いを表現している。

戦争法が通ってしまったら国民は忘れるというアベの「希望」を「失望」に変えるために意思表示を、行動を続けよう！

## 生活時間を取り戻す・ 8時間労働制を守ろう！

大幅に会期延長を行った通常国会は9月27日閉会となり、内閣改造も行ったが未だ臨時国会の動きが無い。野党は憲法に基づき開催を要求しているが、安倍政権は外遊と税金のばらまきに忙しく開く気配がない。まったく身勝手な政権だ。

派遣法に続いて政府が狙うのが、通常国会では審議に入らなかつた裁量労働の適用拡大・高度プロフェッショナル制度（残業代ゼロ法）などの労働時間法制の改悪だ。

誰にとっても1日は24時間しかない。8時間は睡眠、8時間は労働、8時間



戦争法「インチキ採決」の9月19日を忘れない！  
～10.19国会前集会に9500人

## 改悪派遣法施行！ 使える政省令を探し利用していきましょう！

9月11日、39項目もの付帯決議がついて改悪派遣法が成立した。その夕方には労政審を開催し政省令の審議が始まり、パブコメはたったの3日間というドタバタで9月30日施行となった。

「改正」法の概要、省令、派遣元・派遣先向けの指針、施行規則といった資料が出された。

労働団は早速どこがどうかわったのか、活用できるポイントがあるならそれはどこにあるのかと学習会を開催した。雇用共同アクションも11月17日に学習会を企画だ。改悪による被害を少しでも減らすために活用できるポイントを見つけ出そう。

## 全労協女性委員会 定期総会に参加を！

日時：11月27日18時半より  
会場：飯田橋 SKプラザB1  
(千代田区飯田橋3-9-3)  
テーマ：アベ政治NO！



～沖縄の闘いから平和と平等を考える～  
総会&沖縄一坪反戦地主会関東ブロックの方から沖縄の闘いの報告を受けて、平和、平等について意見交換・交流を行います。  
今年も女性委員会の総会にご参加をお願いします！



10月18日(日)渋谷ハチ公前・シールズ街宣  
渋谷ハチ公前を埋めつくす(レイバーネットHPより)

は家事・育児などの生活時間だ。「カロウシ」が世界に通じるほどに日本の長時間労働は問題だ。その長時間労働の削減を掲げながら、労働時間法制の適用を除外する法改悪がされれば、さらに男性の長時間労働が増え生活の場から切り離されるだけだ。これで女性に活躍せよと言われてもできるわけではない。来年の通常国会で春には審議が始まるだろうが、戦争法廃止と併せて8時間労働制をなくす法案の廃案に向けて闘おう。

# 全労協第27回定期大会報告

全労協は10月4・5日に熱海市で第27回定期全国大会を開催した。

金澤議長は「全労協は、安倍政権の攻撃に対して労働者・民衆が国会を取り撤ぎ、全国各地で繰り広げる抗議行動を更に大きく拡げる闘いの先頭に立つ」と挨拶した。

来賓として社民党・又市征治幹事長、戦争をさせない1000人委員会・さようなら原発1000万人アクションの呼びかけ人である鎌田慧さん等からご挨拶を頂き、藤崎顧問からは力強い激励があった。

議案に対する討論では女性代議員としてNTTとの34年間の争議終結を報告した木下さん、都教委による分限免職との闘いを報告した増田さん、混合組合の合法性と意義を最高裁で確定させ橋本維新との闘いを報告をした大阪教育合同の大椿さん、また、長崎から参加された郵政ユニオンの高口さんは夕食交流会で積極的に発言を行った。

全会一致で議案を採択し、労働、脱原発、沖縄・平和の決議と安倍政権打倒の大会宣言を力強く確認して閉会した。

## NTT木下争議 人生をかけた34年の闘いと 支えてくれた共闘の仲間

木下さんの闘いの終結報告

NTT木下争議は解雇から34年を超える闘いでしたが、皆さまのご支援のもと、今日まで闘い続けることができました。心から感謝申し上げます。

NTTを交渉の場に出させ、解決を図ろうと各種行動の取組み、あるいは各団体の方々にご尽力をいただいたところですが、私どもの力およびNTTの頑強な姿勢を崩せず、残念ながら闘いの継続を断念し終結を決意しました。

人生をかけた34年の闘いのいろんな思いがよぎりました。

職業病に罹病させた責任を一切取らず、たった一枚の紙切れで職場から放りだしたことを許すことはできず、絶対に許せない思いで、やむにやまれず闘いに立ち上がったこと、多くの団体、仲間の皆さまの「支援をいただく中で、

### 私のお気に入り

私は今、17年間住んでいた家を絶賛片付け中！終わりのない(?)闘いの中にいます。ごっそり捨て去ることができたらいいんだけど、それが出来ない自分の往生際の悪さが嫌になっているところ。

そんな中「自分のお気に入り」って何なのだろう?と考えてみます。

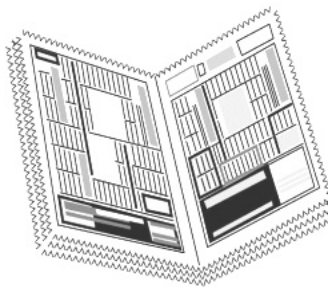
スポーツ観戦、読書、映画、絵画(鑑賞)、走ること、歩くこと・・・etc・・・趣味は多いと思う。今は休止中になっているのもあるけれど・・・。ありすぎて、そして「モノ」として残しておかなければ気が済まなくて今の惨状があるのですが・・・。

特に難敵なのは「新聞記事」です。今だに「紙の文化」にこだわっているのは、私が曲がりなりにも「本屋」だからでしょうか?

じっくり見分する時間は許されていませんが、自分が見過ごしてきたもの、放ったらかしにしてきたもの、そして齢のせいかわれてしまったものがあまりにも多い・・・。

今はその整理に明け暮れている毎日ですがいっそのことこれを自分の「ライフワーク」にしてしまおうかな。

家の片付けが終わってからも「自分だけのスクラップ帳」を作り上げることが出来たら、それが自己満足に過ぎなくても、私の本当の「お気に入り」を見直して、またこれからの様々な困難に立ち向かって行くことができるのではないかと考えているのですが、どうでしょうか。 土居美紀(全労旭屋グループ分会)



NTTで働く夫と一緒に手を携え闘うことができたこと、などです。

こういう思いの中、自分なりに一杯闘い続けてきたし、できることはやりきったとの思いと、心身ともに限界を感じての決断でした。

そしてNTTに対する最後の抗議行動となった10月1日の東京総行動で、皆さまに発声させていただきました。

雨の降りしきる中でのNTT持株会社前での行動には70名を超える仲間



東京総行動には70名もの仲間が結集しての抗議となった(10月1日 NTT持株会社前)



東京総行動で訴える木下孝子さん(10月1日 郵政本社前スタート集会)

間に結集をいただき、NTTへの抗議のシュプレヒコールの中、要請は全労協・中岡事務局長をはじめ8名で臨みました。

私はいままで思いがよぎり「何か悪いことをしたのでしょうか!」と問いたされましたが、何も答えようとはしませんでした。要請団はNTTに対して、「不誠実な態度を許すことはできないし、忘れることはない。それどころか、今まで以上に、貴社の労務管理に対して注目し、問題が生じれば糾弾の声を上げ続ける決意である」とした抗議文を手渡しました。

本当に長い間のご支援ありがとうございました。今後は微力ながら皆さまの闘いに共闘していきたいと思えます。

(全国一般東京労組NTT関連合同分会)

木下孝子)